

ーPM 短期専門コースー

SP-T1
スマート工場
構想企画人材 育成セミナー

第 1 回

開催日：2022 年 3 月 14 日（月）

開催方法：オンラインセミナー（Zoom）

一般財団法人エンジニアリング協会

セミナーのねらい

従来、プロジェクトマネジメントというと、社会インフラの新築に適用されるものという印象をお持ちの方も少なくないようですが、近年国内の製造業で急務となっているオペレーション（操業）の改革、デジタル化を実現する際にも、プロジェクトマネジメント（PM）が適用できます。

本セミナーは、工場スマート化プロジェクトの企画を立案し、構想段階をリードできる成果志向のPM人材の育成を目的としています。製造業が直面する「人手不足」「トレーサビリティ」等の課題に 대응するため、工場のデジタル化に任じられた若手リーダクラスを対象とした、新PMセミナーです。

具体的には、製造業（特に加工組立を中心としたディスクリート系）における工場の機能的な全体像を理解して、自社にとっての「スマート工場」へのロードマップを作成できるようになっていただくことを狙いとしています。製造業ではしばしば部門間の壁が高く、中堅管理職層でも自社工場の業務機能の全体像が見えていないことが多いようです。しかし、スマート工場実現プロジェクトの構想立案では、工場の全体像を把握した上で、適切なデジタル化の課題を設定することが重要です。本セミナーはその入門コースとして、受講者の理解を助けることを目的としています。

セミナーの特徴および運営

本セミナーは、製造マネジメントシステムの研究と実践、製造オペレーションの実務に豊富な経験を持つ3名の講師によるオムニバス式セミナーです。

各セッションの内容の多くは、オペレーションマネジメントの知識や手法を基にしていますが、最近改訂されたプロジェクトマネジメント知識体系（PMBOK 7th）では、オペレーションマネジメントの観点が多く取り入れられるようになっています。

本セミナーでは下記のセッションから構成されます。

セッション1 「スマートファクトリー実現のための必要な知識を学ぶ」

スマート（賢い）ファクトリーが目指すものと、現状とのギャップを理解した上で、医師の仕事とのアナロジーを用いながら、その解決へのアプローチについて整理します。自社の生産環境（工程モデル・生産モデル・ビジネスモデル）を踏まえて、阻害要因を推定し、課題とのギャップを見える化・計量化する方法を学びます。

セッション2 「システムとしての工場～その機能とデータの流れ」

最初にデータと情報の区別を理解した上で、製造業におけるデータの流れとITシステムの位置付けを理解していきます。具体的には、生産計画→実績系のサプライチェーンのサイクルと、設計とBOMデータを中心としたエンジニアリングチェーンとが2軸となります。その上で、製造マネジメントをデジタル化するMESと、その将来像である「中央管制システム」を解説し、導入プロジェクトのためのロードマップ作りのプロセスを説明します。

セッション3 「スマートファクトリー ユースケース・プロジェクト事例紹介」

先ずスマート工場で実現したいコンセプトを規定するところから出発し、サプライチェーンのKPI見える化をリアルタイムに行う取り組みと、その実現にむけたハードルについて紹介します。さらに、エンジニアリングチェーン強化のために、BOM/BOPを活用し工程変更のトレーサビリティを把握するプロジェクト事例などを解説します。

セッション4 自社の課題整理と質疑応答

受講者はセッション1～3で学んだことを通じ、自社の課題並びに課題に対して今後どう取り組みたいと考えているのかをワークシート上に整理し、全体を通し気づいたこと・疑問点などをディスカッションします。

なお、今回はオンライン会議システム（Zoom）を使っの双方向オンライン形式で行います。

参加対象—特にこの様な方々に参加をお勧めします

* 製造業の中堅クラス

（主に工場勤務の管理・技術部門における係長から若手部長）

* 工場のエンジニアリング・建設業務に携わる技術者

講師陣プロフィール

渡辺 薫（わたなべ かおる） ゴールシステムコンサルティング株式会社
チーフカスタマーサクセスオフィサー

（経 歴）

京セラ、日本電産、DXC テクノロジー、日立製作所等を経て現職。IT システム開発／DX プロジェクトの構想検討および要求開発のプロフェッショナルとして金融・製造業の幅広いプロジェクトを支援。近年はコンサルタントおよびエンジニアの人材開発にも注力しており、年に 30 回以上のセミナー&ワークショップで DX 領域のプログラムを提供している。TOC（制約理論）の専門家でもある。

佐藤 知一（さとう ともいち） 日揮ホールディングス株式会社
グループ経営企画部 チーフエンジニア

（経 歴）

1982 年 日揮株式会社入社

現在 日揮ホールディングス株式会社 チーフエンジニア（ビジネス・アナリスト）
博士（工学）、中小企業診断士、PMP、情報処理技術者（プロジェクトマネージャ）

岡野 美樹（おかの みき） 日本電気株式会社
スマートインダストリー本部 シニアマネジャー

（経 歴）

1993 年 NEC 入社。現在は、製造業マーケットのプロモーションに従事。

2012 年より「NEC ものづくり共創プログラム」を担当。

（会員数：1,059 社 5,115 名＜2021 年 12 月末時点＞）

プログラム

3月14日(月)	
時間	項目
(9:15～) 9:30	受講者各自のPCから、ENAA 指定の URL に接続
9:30～10:00 (30分)	【開講】 本セミナーのプロジェクトマネジメント観点
10:00～12:00 (120分)	【セッション1】講師：渡辺 薫 スマートファクトリー実現のための必要な知識を学ぶ
12:00～13:00 (60分)	昼休み
13:00～15:00 (120分)	【セッション2】講師：佐藤 知一 システムとしての工場～その機能とデータの流れ
15:15～16:15 (60分)	【セッション3】講師：岡野 美樹 スマートファクトリー ユースケース・プロジェクト事例紹介
16:15～17:15 (60分)	【セッション4】全講師 自社の課題整理と質疑応答

開催要領

■開催日時： 2022 年 3 月 14 日（月） 9：30～17：15

■開催方法：オンライン会議システム（Zoom）を使用する双方向オンライン形式

※ オンラインセミナーに参加するために必要な視聴および作業環境（パソコン、カメラ、マイク等のハードウェア、ブラウザおよび/EXCEL/Word 等の基本ソフトウェア、通信環境等）は、受講者側の責任と負担にて準備し、受講終了まで維持してください。

■申込方法：当協会ホームページからお申込みください。

<https://www.ena.or.jp/seminar/54490>

■受講料：一 般 15,000円（消費税込）

賛助会員企業 10,000円（消費税込）

□座名義：一般財団法人エンジニアリング協会

□座番号：三菱 UFJ 銀行本店（普）7641424

みずほ銀行東京営業部（普）1824021

※ 申込受付け後請求書を郵送しますので、原則セミナー開催前までにお振込みください。

※ また、お振込みくださいました受講料は原則ご返金できません。

申し込まれた方が参加できなくなった場合は代理の方がご参加ください。

締 切 日： 2022 年 3 月 4 日（金）

定 員： 50 名（先着順に受付け、定員になり次第締切ります。）

《お問合せ》

一般財団法人エンジニアリング協会 産学人材開発部 東海林、田中、塩田

Tel 03-6441-2910、Fax 03-6441-2942 E-mail: seminar-spt1@ena.or.jp